松江市ふるさと文庫

『松江市ふるさと文庫』は、平成 17 年(2005)の新生松江市の誕生にあたり創刊されました。本市は平成の大合併により、東は美保関、西は宍道と、多様な歴史・文化・自然環境をもつ地域となりました。ふるさと文庫は、松江市域に残る先人のあゆみや自然環境などを、様々なテーマで、わかりやすく紹介するものです。判型はすべて A5 判横組、価格は本体価格(税別)です。市内の主要書店、松江歴史館ミュージアムショップで販売しております。

松江市ふるさと文庫 38

澤田順弘著『石が語る松江市の大地の物語』

2026 年 3 月 31 日発行、102 頁、800 円(税別)

約 2000 年前の大陸分裂、日本海の形成―今も松江市に刻まれる、地球規模の地質変動の痕跡と、この地で営まれた人々の暮らし

郵送での購入をご希望の方は、QR コードから→
松江市史 HP「刊行物の購入方法」をチェック！

松江市文化スポーツ部史料・埋蔵文化財課文書館準備係
〒690-0826 松江市学園南 1-20-43　TEL:0852-55-5388 FAX:0852-55-5495 メール:shiryo@city.matsue.lg.jp

バックナンバーのご紹介

※価格は税別です

No.	著者名	題名	単価	在庫
1	小林准士	お殿様の御成り―近世松江藩主と本陣―		完売
2	澤田順弘ほか	大根島のおいたちと洞窟生物		完売
3	乾隆明	松江藩の財政危機を救え―二つの藩政改革とその後の松江藩―		完売
4	佐々木倫朗	堀尾吉晴と忠氏―松江開府を成しとげた武将たち―		完売
5	松尾寿	城下町松江の誕生と町のしくみ―近世大名堀尾氏の描いた都市デザイン―	800 円	
6	山根正明	堀尾吉晴―松江城への道―浜松、富田、松江、城普請の軌跡―		完売
7		松江市の指定文化財―未来へ伝える松江の文化遺産 250―	1000 円	
8	西島太郎	京極忠高の出雲国・松江	800 円	
9	松原祥子	松江城下に生きる―新屋太助の日記を読み解く―	500 円	
10	井上寛司ほか	松江市史への序章　松江の歴史像を探る	800 円	
11	梶谷光弘	松江藩校の変遷と役割　財政再建と人材育成は藩校から始まった	800 円	
12	乾隆明・下房俊一	決定版　見立番付を楽しむ	800 円	
13	田中則雄	雲陽秘事記と松江藩の人々	800 円	
14	青山侑市	松江掃苔録―松江藩を支えた家と人―	800 円	
15	長谷川博史	中世水運と松江―城下町形成の前史を探る―	800 円	
16	西和夫	松江城再発見―天守、城、そして城下町―	800 円	
17	安部登	松江の碑―碑が語る松江の歴史―	800 円	
18	池渕俊一	古墳時代史にみる古代出雲成立の起源	800 円	
19	乗岡実	石垣と瓦から読み解く松江城	800 円	
20	和田嘉宥	松平不昧の茶室　不昧が求めた茶の湯の空間	800 円	
21	桑原羊次郎・相見香雨研究会	郷土のエンサイクロペディア　桑原羊次郎	500 円	
22	大日方克己	出雲に来た渤海人―東アジア世界のなかの古代山陰と日本海域―	800 円	
23	澤田順弘	石が語る松江城の物語		完売
24	田野俊平・梶谷光弘	西洋医学受容から衛生思想普及までの道のり	800 円	
25	大名墓研究会	松江藩主松平家墓所―松江・月照寺に守り伝えられる近世大名墓―	500 円	
26	西田友広	荘園のしくみと暮らし―松江の中世を探る―	800 円	
27	松本岩雄	田和山遺跡が語る出雲の弥生社会	800 円	
28	史料調査課	〈松江市史を読む１〉国令―松江藩の法令と人々の暮らし―	500 円	
29	川岡勉	室町時代の出雲と京極氏	800 円	
30	佐藤仁志	ふるさとの野鳥に親しもう～松江市持田・本庄地区の野鳥たち～	500 円	
31	小林准士	松平治郷（不昧）の治世―御立派改革後の松江藩政と藩領社会―	800 円	
32	的野克之	松江の仏像―その時代とかたち―	800 円	
33	松江城・史料調査課	〈松江市史を読む２〉皇国地誌を読む―明治の松江、まち・ひと・くらし	500 円	
34	吉松大志	古代国家の形成と出雲国の誕生―大王権の確立と部民制の進展	800 円	
35	面坪紀久	旅するしまねの学生たち―修学旅行が語る近代の旅―	500 円	
36	桑原羊次郎・相見香雨研究会	松江が生んだ美術史家 相見香雨	800 円	
37	大矢幸雄	江戸初期の出雲国と城下町松江～堀尾期松江研究の最前線～	800 円	